

研究テーマ

# 高校生の駅大作戦

—信頼されるお店を目指して—

岐阜県立益田清風高等学校

## 益田清風高校ってどんな学校ですか？

「向学自主」「直心友愛」を校訓とし、県内唯一の普通科・専門学科（ビジネス情報科）・総合学科が併置された、進学も就職にも対応できる地域に根付いた学校です。校外活動が盛んで、生徒が主体的に活動できる場面を多く設けています。

ビジネスを主に学ぶビジネス情報科、観光文化・福祉・保育・食文化の各系列がある総合学科では、地域や企業の皆さんと連携した学習で持続可能な地域の担い手を目指しています。



学校全体写真

## この研究テーマを選んだ理由は・・・

数年前から本校は、スイーツを活用した「ソッコーンポタージュスープ」や「とうもろこしジェラート」の新商品開発を通して、地域の魅力を高めようと取り組んできました。新産地づくり・新ブランド化に向けて、農家や加工会社、市役所の協力をいただき取組みを続けてきましたが、コロナ禍の影響で完成する目途が立たなくなったため、新たな取組みを考えることにしました。

そこで、大きく視点を変え現状を捉え直してみたところ、以下の2つのことに気づきました。①下呂市内は兼業農家が多くあり、その多くは小規模な農作地で、作物が余れば親戚や近所に配っている。②国道41号線が通っているが、観光客などは萩原地区を通過するだけになっている。この2つのことから、国道41号線沿いに野菜産直市場を作り、地域農家の方と観光客の橋渡しの役割をすることにより、地域に貢献することができるのではないかと考え、このテーマを選びました。

## 取り組んだ内容とその成果と課題は・・・

### 高校生の駅トマトランド産直市の運営（ビジネス情報科）

◇専業農家・兼業農家を問わず下呂市内の生産者に募集をかけ、旬の食材や加工品を出品してもらいました。

◇アンケート調査により、購入される顧客の把握ができ、観光客が4割来店されていることが分かりました。



トマトランド産直市

### 地域の農産物「トウモロコシ」の生産と販売（総合学科）

◇新ブランドである南飛騨コーンを農家の方と一緒に生産し、天領朝市やトマトランド産直市で販売しました。



トウモロコシ作り

## 実践をとおして学んだことは・・・

・週1日の営業でも真剣に取り組むことで、農家と観光客の橋渡し役をすることができ、また、新観光スポットを作るという課題に取り組むことで、町の活性化につながることを学びました。